

SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

三者すれ違い (協会と銀行と企業と)

場所は保証協会の受付、Aは訪れた企業人、Bは協会担当者。

A：今月初め、C銀行を通じて協会に保証のお願いをしたんですが、結果は駄目ということでした。大凡の理由は銀行から聞きましたが、今後のこともあるので詳しくお伺いしたいのですが。

B：(会社の綴りを見ながら)C銀行さんから聞いたと思いますが、理由はそれ以上でもありませんし、それ以下でもありません。第一は、担保の不足です。不足というより現状は評価がありません。D銀行さんから分割して入れてもらっていますが、この評価は事実上ゼロです。

A：それはどういうことでしょうか。とすれば、担保は入れてあっても無駄ということですね。

B：全く無駄ということではありませんが、土地が下がった結果殆ど評価できなくなったということです。協会では現在の保証は全て信用扱いと判断しています。

A：担保が下がったのは、企業の責任でも経営者の責任でもないですよ。私達は不満です。

B：そうでしょうが、そう言われても事実は事実ですし、我々にはどうしようもありません。それに貴社の場合、財務内容が良くありません。これ以上信用扱いでの保証は困難です。

A：具体的には？

B：収益性が低いこと、自己資本が少ないこと、そして借入が多すぎることで、等です。これらを改善していただかないと。

A：それらの改善状況は何時見るのですか？

B：基本的には次期決算書で判断します。

A：それまで待たないといけないんですか。

B：そういうことになります。

A：我が社では、協会さん保証の借入金を毎月2

00万円返済しています。年間2,400万円になります。協会さんの保証はそれだけ減りますよね。減った分の折り返しも出来ないんですか？

B：何度も云うようですが、担保がない以上、信用ではこれ以上保証できません。

A：じゃ逆に聞きますが、毎月返済しっぱなしでは資金繰りが持ちません。どうしたらいいんでしょうか？

B：銀行さんに相談して返済額を減額してもらったらどうでしょうか。協会分だけの減額は困りますが、全体の計画の中での減額には応じます。

A：そうすると保証は当分出来なくなりますよね。

B：当初の条件に復して、しかも一定期間経過するまで保証できません。従って、再借入が不要になるような計画を立てて銀行に相談して下さい。

A：そうしている会社はあるんですか？

B：最近非常に多くなっています。1,000万の新規保証をしても、毎月200万円返済したのでは5ヶ月ももちません。であれば、返済額を大幅に削減する方が効果は大きくなります。

A：それはそうですが、銀行の評価も下がってしまうのではないですか。しかし協会さんも冷たい。協会の使命にもとめるのではないですか。

B：私達も出来るだけ保証しようと努力はしています。しかし、これだけ銀行への代位弁済が増え、それに皆さんの税金が使われるとなると、やはり相応の審査をせざるを得ないのです。

A：銀行は協会保証があれば出すと云うんですが、協会は保証できないと云う。まさに袋小路だ。

B：銀行が我々に下駄を預けてリスクを負っていないことには、我々も不満を持っています。云ってみれば、三者すれ違いですかね。

A：三者すれ違い？ そう云ってしまえば事は簡単ですが、我々は簡単には引き下がれない。銀行員や貴方達と違って、全てを賭けているのですから。解るでしょうか？

B：.....